

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第3学年

【単元名】 「場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう」

（「ちいちゃんのかげおくり」 光村図書 全8時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
(1)オ 様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増やし, 文章の中で使い, 語彙を豊かにすること。 (2)イ 比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方を理解し使うこと。	C 読むこと(1) エ 登場人物の気持ちの変化や性格, 情景について, 場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 オ 文章を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもつこと。

【主な学習活動と留意点】

前単元「読むこと（文学的文章）」からのつながり：「もうすぐ雨に」「ぼく」の変化を捉え、感想を発表し合った。
 ・場面ごとに、「ぼく」の行動や気持ちが表れているところを見つけ、不思議な出来事が起こる前と後とでの「ぼく」の変化について考えた。
 ・「おもしろい」と思ったところをその理由を明らかにしてまとめ、グループで発表し合った。

働かせる見方・考え方：二つの「かげおくり」に着目して、場面の移り変わりとの関係性を意味付けること。

段階	学習活動（時間）	留意点
第一次	1・「ちいちゃんのかげおくり」という題名から物語に興味をもつ。 ・教師の範読を聞き、初発の感想をもつ。(1)	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 単元の見通しをもつ </div> ☞学習後に一番心を打たれたところについて感想をまとめる活動があることを知らせ、単元の見通しをもてるようにする。
単元を通した学習テーマ：場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう		
第二次	2 人物の行動・会話に着目し、出来事や人物の気持ちを考えながら丁寧に読む。(2) 3 二つの「かげおくり」を比べて、違うところを考える。(1) 4 二つの「かげおくり」の間にどんな出来事があり、うしなわれたものは何かを想像する。(1) 5 一番心を打たれたところとその理由を考える。(1)	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 前単元の既習事項を生かし内容把握 </div> ☞場面の移り変わりに注意しながら、人物の行動描写や会話文に着目して、人物の気持ちを想像してまとめる。 <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 特徴的な表現（教材の価値）に着目して解釈する </div> ☞二つの「かげおくり」の間にどんな出来事があり、うしなわれたものは何かを、「かげおくり」の相違点と関連させて考え合う場を設ける。 <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 自分の考えを形成し、共有する </div> ☞理由として、その時の人物の気持ちや場面の様子を想像して、感じたことを詳しくまとめる。
第三次	6 一番心を打たれたところについて感想文を書く。(1) 7 単元を振り返る。(1)	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 単元で学んだことを活用（一般化）する </div> ☞場面全体を短くまとめたり、心を打たれた文を引用したりして書き、互いに読み合う場を設ける。 <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 自分の学びを振り返る </div> ☞単元で何を学んだのか、それぞれの学びを自覚できるように自分の言葉でまとめる場を設定する。

次単元へのつながり：「三年とうげ」おじいさんの様子や気持ちの変化を捉え、おもしろいと思うところを紹介する。
 ・おじいさんの行動描写と会話文に着目して、その様子や気持ちの変化を場面の移り変わり結び付けて捉える。
 ・民話や昔話を1つ選び、おもしろいと思うところとその理由を紹介する。